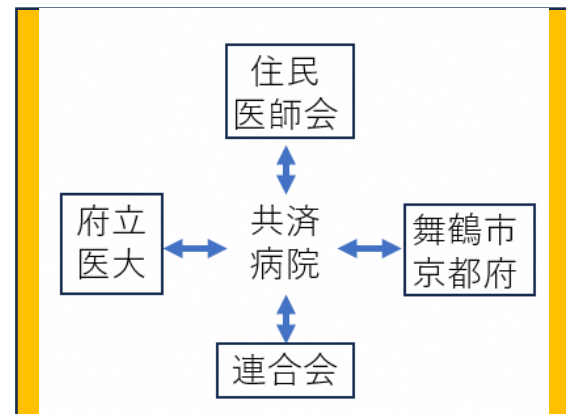


沿革・概要（舞鶴共済病院）

開院 116年の歴史



明治40年 舞鶴海軍工廠職工共済会病院として開設

昭和25年 旧令特別措置法：国家公務員共済組合連合会へ承継

国家公務員共済組合連合会：年金事業 財務省管轄

病院部（22病院運営）：虎の門、大手前など

旧令病院部（10）：鎮守府地域（横須賀、呉、佐世保）

「**当面の間**、運営・管理を行う」

すこやかの森（老健施設 西舞鶴 100床）：当院が管轄

独立採算制（本部貸付制度）市から救急・保育所等助成 +

松元理事長
（元内閣府事務次官）

許可病床数：300床（一般 254、地域包括 36、ICU 10）

→ 休床 46床 → 現在 **254**床で運用

昨年4月病院長拝命（第35代）：今まで金沢大学が病院長踏襲

→ **新体制**へ（院長、副院長ともに**京都府立医大**出身）

当院の特長・特徴（1）



- 地域医療支援病院
- 京都北部地域の最大の循環器センター
(北部唯一のICU・CCU保有、内科・心臓血管外科の連携、心臓リハビリテーションを完備)
- がん診療機能の充実
(外科、消化器内科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻科の集学的治療が展開)
- 低侵襲がん手術 (ロボット支援手術：舞鶴市で唯一産婦人科も準備へ→ センター化構想)
- 腎臓透析機能 (公的病院唯一 在宅療法・予防医療も普及)
- 歯科口腔外科 (3名歯科医在籍 北部拠点)

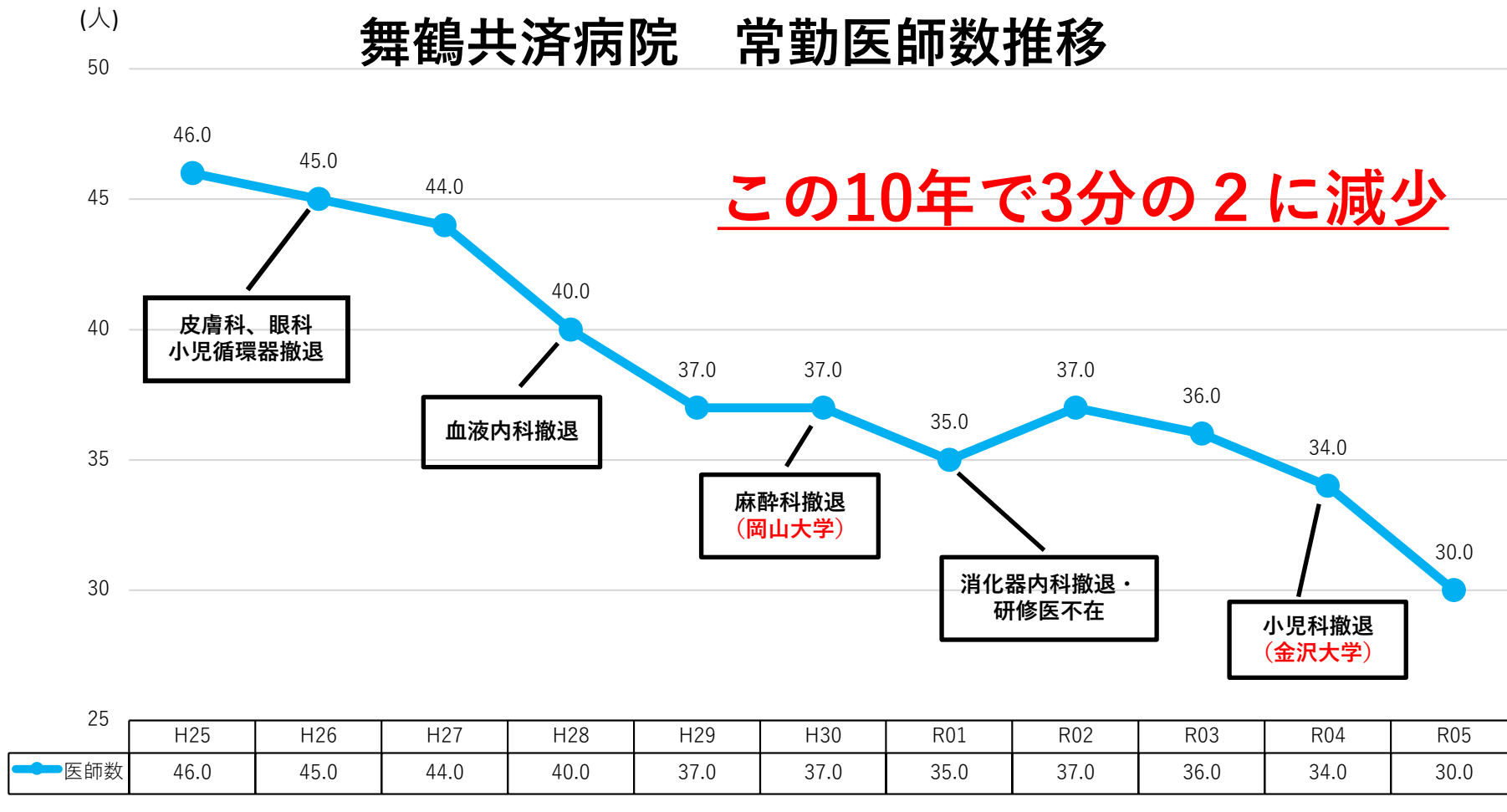
当院の特長・特徴（2）

- ・ **赤ちゃん**にやさしい病院（Baby friendly hospital: BFH）
（お母さんと赤ちゃんにやさしい母乳育児を推進 当院の小児科医が不在となり医療センターとの連携を密に）
- ・ 充実した**手術室**
（8ルーム完備、オールラウンドな外科手術に対応可能）
- ・ **高気圧酸素療法**開始
（顎骨壊死や突発性難聴などの疾患に対応）
- ・ **地域医療連携室**（実地医家・医師会との密な連携
→ 逆紹介率：過去5年で22%増加 82.7%↑）
- ・ **認定看護師・特定行為看護師**の充実
（感染管理・緩和ケア・皮膚排泄ケア・救急看護など9名の認定看護師を育成）

喫緊の課題(1)：常勤医師の確保

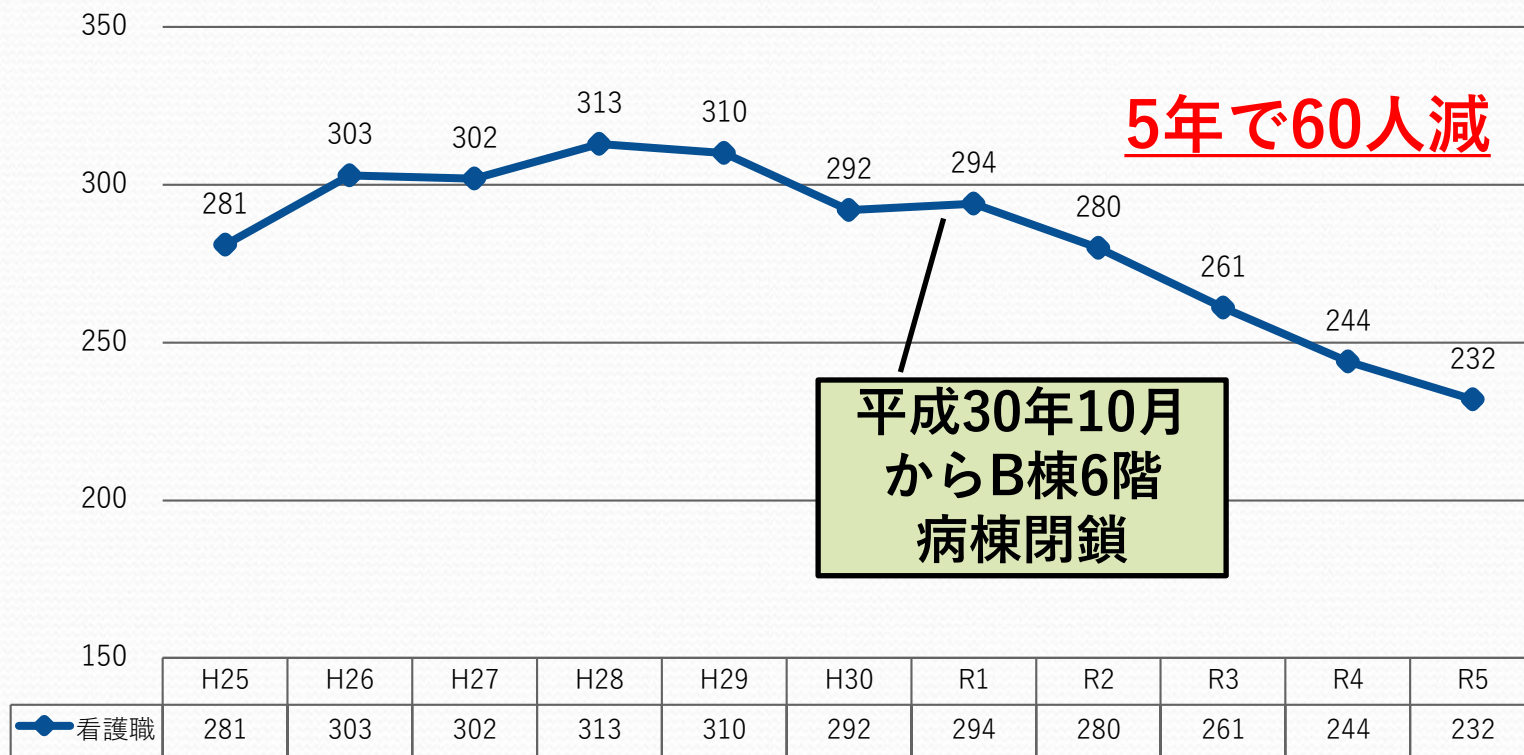
舞鶴共済病院 常勤医師数推移

この10年で3分の2に減少



喫緊の課題(2):看護職の確保

舞鶴共済病院 看護職数推移



急激な看護職の減少(舞鶴市全体の課題)

喫緊の課題(2):看護職の確保

舞鶴市全体の課題

350

当院の課題

専門医の常勤医師が不在となれば入院加療継続困難
(非常勤医師でなんとかか外来診療は維持)

常勤医師・看護師の継続的な減少も、入院診療に
深刻な支障をきたす (病棟全稼働や夜勤勤務)

結果的に入院稼働の減→財政状況に影響

32

急激な看護職の減少(舞鶴市全体の課題)